

四国電力株式会社

取締役社長 千葉 昭 様

申 入 書

平成 2 3 年 8 月 1 6 日

四国 4 県議会正副議長会議

申入書

東京電力福島第一原子力発電所の事故については、収束に向けた工程表のステップ1を達成したとされてはいますが、今後も収束までには、幾多の困難を乗り越えなければならず、長い年数を要すると見込まれています。

周辺住民の方々は、今も、いつ帰れるかわからない避難生活を続けており、その苦しみと不安は察するに余りあります。また、全国に広がる牛肉などの食品汚染の問題、電力供給不足の懸念など、今回の事故は我が国の社会、国民生活に極めて深刻な影響を及ぼしております。

このような状況の中、四国4県議会正副議長会議では、去る8月2日(火)に徳島市で会議を開催し、震災対策や原子力発電所の安全対策の強化等について国に要望することを決定しましたが、その中で、四国電力伊方原子力発電所の安全確保や電力供給量の確保について懸念する意見が多くあり、これらの問題について、今後も4県議会が連携して取り組んでいくこととしたところであります。

については、当会議での議論を踏まえ、貴社に対し、次のとおり申し入れいたしますので、真摯な対応をお願いいたします。

【申入事項】

- 1 伊方原子力発電所については、緊急安全対策の中・長期的対策やストレステストを適切、確実に実施するなど、引き続き安全・安心の確保に万全を期すること。
- 2 貴社におけるすべての発電設備の電力供給力について、検査中のものや休止中のものを含め、情報を当会議に提供するとともに、今後の需給見込みを明らかにされたいこと。

平成23年8月16日

四国4県議会正副議長会議

香川県議会議長	山本	直樹
徳島県議会議長	岡本	富治
高知県議会議長	中西	哲
愛媛県議会議長	寺井	修